KENWOOD

デジタルオーディオプレーヤー

M1GA3 / M512A3 / M256A3

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。

この取扱説明書は3機種を共用しておりますので、一部フィーチャー（機能）の異なるものがあります。

株式会社 ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

- プレーヤー使用中のよくある質問については、弊社ホームページの「FAQ」にて、情報を提供しています。
http://www.kenwood.com/j/download/m256_512/index.html にアクセスしてください。
- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
電話 ：(0570) 010-114（ナビダイヤル）　携帯･PHSでのご利用は（045）933-5133
FAX ：(045) 933-5553
住所 ：〒226-8525 横浜市緑区白山 1-16-2
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、クイックスタートマニュアルの「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

B60-5576-18 01 (J) AP 0411

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。近くにいる人や、隣り近所への配慮を十分いたしましょう。特に密集した場所でご使用になる場合は、音量を控え目にするなどして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

製造年表示は、電池ボックスの内側にあります。
電池カバーを開けると表示を見ることができます。

本書の内容は、予告なく変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは使用許諾契約書の規定に従います。
同契約書の規定による許可無くこのソフトウェアを複写することは、法律に違反しますのでご注意ください。使用許諾契約受諾者は、バックアップ用としてのみ1 点に限りこのソフトウェアの複写を作成することができます。
ソフトウェア使用許諾契約書は、インストールCD 上の別のフォルダに収録されています。

目次

次ページに続く

目次

ご使用の前に

本機の特長

- 軽量コンパクトで、アウトドアに適した耐ショック性
- Windows Media DRM 対応
- USB2.0 インターフェースによる音楽データの高速転送
- FM チューナー内蔵
- 内蔵マイクロホンによるボイスレコーディング機能
- 高音質ヘッドホン

はじめに

このたびはデジタルオーディオプレーヤーM1GA3/M512A3/M256A3をお買い上げいただきありがとうございます。
このプレーヤーを使用して音楽ライブラリを作成し、再生することができます。
USB 2.0 インターフェースを備え､音楽トラックやデータを高速に転送することができます。また、マイクロホンや FM ラジオチューナーが内蔵されています。
マイクを使えば会議や学校の講議などを録音することができ、FM チューナーを使えばFM ラジオを聴いたり､FM ラジオをステレオで録音することもできます。

必要なシステム

- Microsoft® Windows® XP/2000/Me
- Intel® Pentium® II 350 MHz 以上を搭載するPC/AT互換機
- CD-ROM ドライブ
- USB 1.1/2.0 規格に準拠した USB ポート (USB 2.0 を推奨)
- 物理メモリ 64 MB (128 MB 以上 を推奨)
- ハードディスク空き容量 30 MB (オーディオファイルの保存にはさらに多くの容量が必要です)

POINT

- 上記に適合する全ての環境について動作保証するものではありません。
- OSをアップグレードしたパソコン､または自作パソコンでの動作保証はいたしません。
- CD から録音（リッピング）するには、別途リッピングソフトウェア（Windows Media Player など）が必要です。

プレーヤーについて

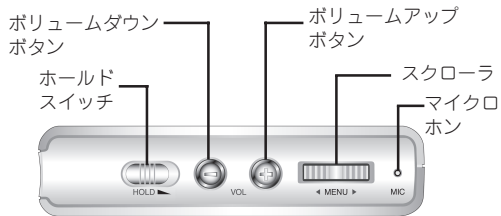
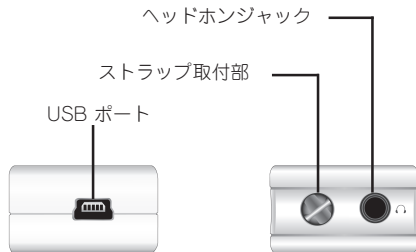
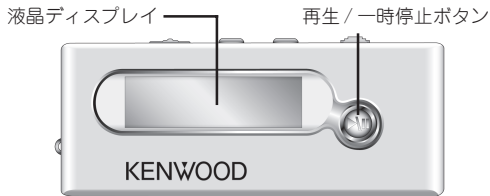
各部の名称および機能

［上面］

［側面］

［前面］

［底面］

次ページに続く

プレーヤーについて

再生 / 一時停止ボタン

- 電源をオン / オフします（電源がオンまたはオフになるまで押し続けます）
- 再生を開始、一時停止、または再開します
- FM ラジオモードのとき、スクローラのモードを変更します

ホールドスイッチ

- プレーヤーの全てのボタンをロックします（ボタンをロックするには **HOLD**◣ の方向にスライドさせます）

ボリュームダウンボタン

- 音量を下げます(押し続けると音量が徐々に下がります）

ボリュームアップボタン

- 音量を上げます（押し続けると音量が徐々に上がります）

スクローラ

◂ MENU ▸

- 前の、または次のトラックに進みます（再生中にスクローラを回して離すと、前の、または次のトラックに進みます）
- 再生中のトラックを早送り、または早戻しします（再生中にスクローラを回し、回した方向に押し続けると、トラック内の前の部分または次の部分に移動します）
- メニューをスクロールします
- メニューオプションを選択します（スクローラを回してメニューオプションをスクロールし、スクローラを押してオプションを選択します。この動作は「**スクロールセレクト**」とも呼びます →8）
- FM ラジオを選局、またはスキャンします

スクローラの使用

スクロールセレクト

スクローラは本機で最も重要な機能の一つです。
本書では、「スクロールセレクト」という指示があったら、スクローラを回して項目の間を移動し、スクローラを押してその項目を決定することを意味します。

スクローラ
（上面図）

スクローラを回してオプションをスクロールします

スクローラを押してオプションを選択します

表示されている画面に応じて、選択できるオプションは異なります。

POINT

「スクロールセレクト」するには、スクローラを回して項目を選び、スクローラを押して決定します。

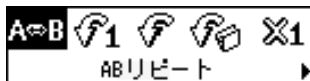
メニューオプションの選択

スクローラを使用してメニュー項目を選択できます。

[メインメニュー] 画面が表示されている場合:

1 スクローラを左右に回してメニューオプションをスクロールします。

［メインメニュー］
画面

2 スクローラを押してメニュー項目を選択します。

プレーヤーのセットアップ

本機 には、オーディオトラックの転送、ミュージックライブラリの管理など、対応している Windows で使用するためのソフトウェアが付属しています。

1 本機がコンピュータにUSBケーブルで接続されていないことを確認してください。

2 インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。CD は自動的に起動します。自動的に起動しない場合は、以下の手順に従います。

i. ［**スタート**］➡［**マイ コンピュータ**］アイコンをクリックします。

ii. CD-ROM/DVD-ROM ドライブのアイコンを右クリックし、［**自動再生**］をクリックします。

3 画面に表示される手順に従ってインストールを完了します。

4 再起動を求める画面が表示されたら、コンピュータを再起動します。

POINT

- ソフトウェアをインストールするには、Windows XP および 2000 では Administrator または管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。詳細については、お使いのオペレーティングシステムのオンラインヘルプを参照してください。
- インストールが完了すると、Windows エクスプローラに［**Kenwood Media Explorer**］フォルダが追加されます。「**Kenwood Media Explorer**」の詳しい操作方法は「**ファイルの転送**」を参照してください。 →11
- Windows からリムーバブルメディアとして認識されている本機（［リムーバブルディスク（F：）］など）にWindowsエクスプローラを使って転送したファイルは、本機で再生することはできませんが、リムーバブルメディアとして各種データを本機に転送することはできます。ただし、本機で音楽を再生したい場合は、必ず［**Kenwood Media Explorer**］内の［**M_A3**］フォルダに転送して、".kxm" 形式にコンバートしてください。

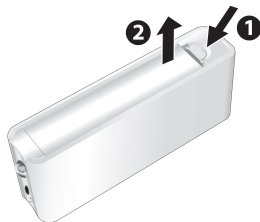
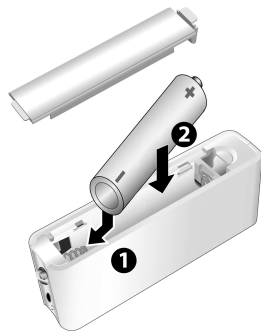
次ページに続く

警告 電池のアルカリ液が目、皮膚に付着したときは失明やけがのおそれがありますので、すぐに多量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

※付属のアルカリ乾電池は、動作チェック用のため寿命が短いことがあります。ご了承ください。

電池の取り付け

下の図のようにして、本機に電池を取り付けます。

1 電池カバーをはずします。

2 電池を取り付けます。

注意

電池を入れるときは必ず ⊖ 極側から入れてください。無理に入れると、電池の被膜が破れ、ショートし、破裂、液漏れ、やけどの原因となることがあります。

次ページに続く

電池およびレベルの表示

本機には、電池の状態に応じて以下のアイコンのいずれかが表示されます。

電池には充分な電力があります

このアイコンは、電池の電力がいっぱいであることを示しています

電池には約 60% 程度の電力が残っています

このアイコンは、電池の電力が充分あることを示しています

電池には約 30% 程度の電力が残っています

このアイコンは、電池の電力が低くなっていることを示しています。**早めに電池を交換してください**

POINT

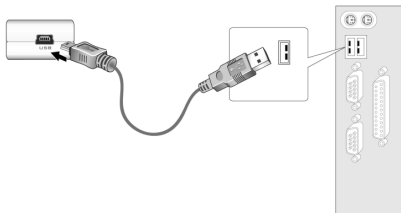
連続再生時間は様々な要因により変化します（たとえば再生時のボリュームレベルなど)。詳細については、「**使用方法**」を参照してください。 →44

ファイルの転送

本機には、あらかじめサンプルの曲が保存されています。 保存されている曲をすぐに聴くには、

[再生/一時停止］ボタン を押します。

ファイルを転送する：

1 **本機とコンピュータの USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続します。**

2 **デスクトップの［マイ コンピュータ］アイコンを右クリックし、［エクスプローラ］をクリックします。**

3 ［Kenwood Media Explorer］フォルダ内の［M_A3］フォルダに音楽ファイルをドラッグ＆ドロップし本機にファイルを転送します。

- ファイルは、本機で再生可能な形式に変換され転送されます。このときファイルの拡張子は"**.kxm**"になります。（このファイル形式では、パソコン上で再生することはできません）
- 転送したファイルは、オリジナルデータと比べて容量が若干大きくなります。
- オリジナルデータのTag情報は、タイトルのみ本機で表示できます。
- さらに具体的な手順については、「**転送から再生までの手順**」を参照してください。→47

音楽トラックを本機に追加するには、音楽 CD からリッピングしてコンピュータに取り込みます。詳細については、「**CD からのリッピング**」を参照してください。→14

POINT

- 転送ファイルは、アルファベット順に再生されます。
- 転送ファイルが壊れているなどの理由で、本機で再生ができないファイルは、スキップされます。
- Tag情報の表示はできますが、情報の加工はできません。
- 転送時に再エンコードなどの処理は行ってはいないので、音質が劣化することはありません。
- 転送できるファイル数は最大500曲までで、フォルダ数は 50 まで作成できます。

転送ファイルを編集する：

1 「ファイルを転送する」（→11）の手順1～2を操作します。

2 ［Kenwood Media Explorer］フォルダ内の［M_A3］フォルダをクリックします。

本機に転送したデータが表示されます。

3 ファイルを右クリックし、編集する項目を選びます。

- ［**名前の変更（R）**］：ファイル名を変更します。
- ［**コピー（C）**］：ファイルをコピーします。
- ［**切り取り（T）**］：ファイルを切り取ります。
- ［**削除（D）**］：ファイルを削除します。
- ［**トラック番号でソートする**］：トラック番号の順番にソートします。
- ［**ファイル名を元に戻す**］：ファイル名を元に戻します。
- ［**KXMに変換**］：ファイルをKXM形式にコンバートします。
- ［**プロパティ**］：プロパティを表示します。

POINT

Kenwood Media Explorerの［**ヘルプ（H）**］でも操作方法をご覧になることができます。

「Kenwood Media Explorer」の操作：

（ルビ：Media＝メディア、Explorer＝エクスプローラ）

［Kenwood Media Explorer］フォルダ内の［M_3A］フォルダを開いているときに表示されるツールバーで各操作ができます。

カスタムソート

1 ［カスタムソート］ボタン をクリックします。

2 カスタムソート画面を操作して、音楽ファイルをお好みの順番に並び替えることができます。

3 ［保存］をクリックして、カスタムソート画面を閉じます。

ファイル名の先頭に３桁の連番が付加されます。

POINT

詳細については、Kenwood Media Explorerの［**ヘルプ（H）**］でもご覧になることができます。

セッティング

1 ［セッティング］ボタン をクリックします。

2 セッティング画面を操作して、各項目のチェックをつけることにより、それぞれを有効にすることができます。

3 ［適用］をクリックすると、設定内容が適用されます。

［OK］をクリックしてセッティング画面を閉じます。

POINT

詳細については、Kenwood Media Explorerの［**ヘルプ（H）**］でもご覧になることができます。

次ページに続く

フォーマット

［フォーマット］ボタン をクリックすると、Windows のフォーマットダイヤログボックスを起動させることができます。

詳細については、「プレーヤーのフォーマット」を参照してください。

→38

プレーヤーをコンピュータから取り外す：

1 ［エクスプローラ］を終了します。

2 タスクバーの［ハードウェアの安全な取り外し］アイコン をクリックし、［USB 大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します］をクリックします。

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (F:) を安全に取り外します 10:51

3 安全に取り外せる状態を示すメッセージが表示されたら、プレーヤーを取り外します。

CD からのリッピング

CDから音楽データをコンピュータに取り込むことをリッピングといいます。

音楽 CD からMP3（またはWMA）ファイルを作成するには、最初に音楽 CD のデジタルデータをコンピュータに取り込む必要があります。 取り込みには、リッピングに対応した CD-ROM ドライブとリッピングが可能なソフトウェアが必要です。

デジタルデータの取り込みが完了したら、次にデータのエンコーディングを行います。通常、音楽 CD から取り込まれたデータは WAV 形式で、これを MP3 （またはWMA）形式に変換します。

MP3（またはWMA）は不可逆圧縮方式であり、可聴域を超える一部のデータが削除されてからエンコーディングが行われます。標準のサンプリングレートとビットレートを使用すれば、ほとんど音質を損なうことなく MP3（またはWMA）形式のファイルが作成されます。

MP3（またはWMA）ファイルの標準的なビットレートは 128 Kbps ですが、一部のファイルでは 160 Kbps または 192 Kbps という高いビットレートが使用される場合もあります。ビットレートを高く設定すると音質は向上しますが、作成されるファイルのサイズが大きくなります。

リッピングおよびエンコードの詳細については、お手持ちのリッピングおよびエンコーディングソフトの取扱説明書をご覧ください。

次ページに続く

著作権を守りましょう：

本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者および他の権利者の承認を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。

- 市販の音楽CDなどを著作者の許諾無しに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。
- 個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の許諾無しに第三者に配布することはできません。
- 個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者の許諾無しに故意にインターネットで配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触する可能性があり、その場合処罰の対象となります。

プレーヤーの電源をオン/オフする

本機には、[ミュージック]、[録音ファイル]、[FM ラジオ] という3つのモードが用意されています。[ミュージック] モードではMP3、WMA ファイルの再生を行います。[録音ファイル] モードではマイクロフォンまたはFM ラジオ番組から録音したファイルを再生します。

モードの切り替え方については、「**モードの設定**」を参照してください。
本機にはいくつかの再生モードがあり、ファイルの再生方法を変更できます。詳細については、「**再生モードの切り換え**」を参照してください。 →19

プレーヤーの電源を入れる：

[再生/一時停止] ボタン を数秒押し続けます。

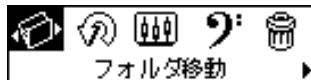
[**KENWOOD**] ロゴが液晶画面に表示されます。
電源を切ったときと同じモードで、本機の電源がオンになります。

プレーヤーの電源を切る：

[パワーオフ] のメッセージが液晶画面から消えるまで、[再生/一時停止] ボタン を数秒押し続けます。

オーディオトラックはファイル名順に再生されます。

モードの設定

1 スクロールラを押します。

[**メインメニュー**] 画面

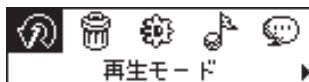
2 [ミュージック] アイコン 、[録音ファイル] アイコン 、[FM ラジオ] アイコン のいずれかをスクロールセレクトします。

次ページに続く

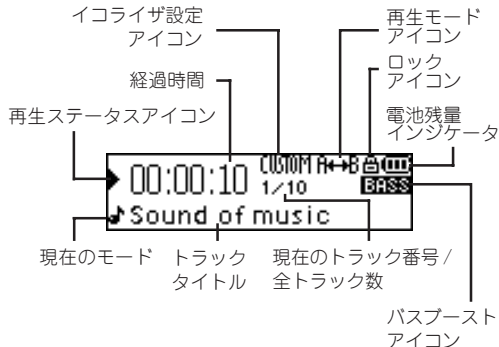
音楽トラックの再生

トラックを再生する：

1 スクローラを押します。

［メインメニュー］
画面

2 ［ミュージック］アイコンをスクロールセレクトします。

3 再生する楽曲をスクロールセレクトします。トラックが自動的に再生されます。

再生中の表示（通常の再生モードのとき）：

トラックを一時停止する：

［再生/一時停止］ボタンを押します。

前のトラックに移動する：

スクローラを左 ◀ に回転させ 、スクローラを離します。

再生開始後5秒以内に回転させると直前のトラックの最初に移動します。
5秒以上経過後に回転させた時は再生中のトラックの最初に移動します。

次ページに続く

次のトラックに移動する：

スクローラを右 ▶ に回転させ 、スクローラを離します。

トラックを停止する：

1 ［再生 / 一時停止］ボタンを押して、トラックを一時停止します。

2 スクローラを左右のどちらかに回転させます。

［**停止**］アイコン ■ が画面に表示されます。

POINT

- 本機にオーディオトラックが保存されていないときは［**ファイルなし**］というメッセージが表示されます。
- オーディオトラックを本機に転送する方法については、「**ファイルの転送**」を参照してください。 → 11

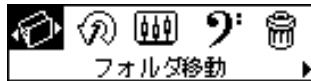
フォルダのスキップ

オーディオファイルがいくつかのフォルダにグループ分けされていて、特定のフォルダをすぐに再生する場合にこの機能を使用します。そのフォルダのオーディオファイルの再生が終わると、次のフォルダのファイルが再生されます。

フォルダを選択する：

1 スクローラを押します。

2 ［フォルダ移動］アイコンをスクロールセレクトします。

アイコンが表示されます

3 再生するフォルダをスクロールセレクトします。

POINT

- ［**フォルダ移動**］は［**ミュージック**］モードでのみ選択できます。
- 本機が認識できるルートディレクトリのサブフォルダレベルは、1 階層のみです。

次ページに続く

再生モードの切り換え

本機にはいくつかの再生モードがあり､トラックの再生方法を変更できます。[ミュージック]モードまたは[録音ファイル]モードにおいて選択できます。

本機には、次の再生モードが用意されています：

- [**AB リピート**]：トラック中の任意の区間を繰り返し再生
- [**曲リピート**]：現在再生中のトラックを繰り返し再生
- [**リピート**]：再生リストの最後の曲が終わると、最初から繰り返し再生
- [**単位リピート**]：指定したフォルダ内の曲を繰り返し再生。([**ミュージック**]モードでのみ使用可能)
- [**シングル**]：現在再生している曲が終わると停止
- [**ランダム**]：プレーヤーを止めるまでずっとシャッフルしながら再生
- [**シャッフル**]：再生リストの全ての曲をシャッフルして 1 回だけ再生
- [**単位シャッフル**]：指定したフォルダ内の曲をシャッフルして再生。([**ミュージック**]モードでのみ使用可能)
- [**ノーマル**]：通常の再生モード

同時に複数の再生モードを有効にすることはできません。

次ページに続く

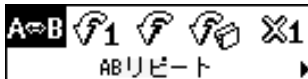
■ 音楽のリピート

選択したトラック、フォルダ、全てのトラック、またはトラックの一部を繰り返し再生できます。

1 スクローラを押します。

［メインメニュー］
画面

2 ［再生モード］アイコンをスクロールセレクトします。

リストが表示されます

次のいずれかの操作を行い、必要なモードに設定します。

トラックの一部を繰り返し再生するには：

1 ［AB リピート］アイコンをスクロールセレクトします。

A⇔B が表示されます

2 スクローラを押して、繰り返して再生する部分の先頭にマーカを設定します。

A⇔B が画面に表示されます。

3 スクローラをもう一度押して、繰り返して再生する部分の最後にマーカを設定します。

- A⇔B が画面に表示されます。
- マーカを設定した部分が繰り返して再生されます。

通常の再生モードに戻るには

「**全てのトラックを再生する**」の操作手順に従って［**ノーマル**］モードに切り換えます。 →23

次ページに続く

トラックを繰り返し再生するには：

［曲リピート］アイコン をスクロールセレクトします。

1が表示されます

再生を止めるか別のフォルダに移動するまで、トラックが繰り返し再生されます。

全てのトラックを繰り返し再生する：

［リピート］アイコンをスクロールセレクトします。

が表示されます

再生を止めるまで全てのトラックが繰り返し再生されます。

フォルダ内のトラックを繰り返し再生するには：

［単位リピート］アイコンをスクロールセレクトします。

が表示されます

再生を止めるか別のフォルダに移動するまで、指定されたフォルダ内のトラックが繰り返し再生されます。

POINT

- ［**単位リピート**］は［**ミュージック**］モードでのみ選択できます。

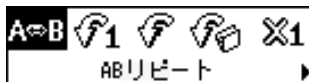
■ トラックを一回再生する

［シングル］モードを選択している場合、現在のトラックが終了すると再生が停止します。

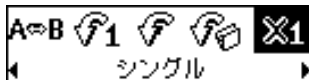
1 スクローラを押します。

［メインメニュー］画面

次ページに続く

2 [再生モード] アイコンをスクロールセレクトします。

リストが表示されます

3 [シングル] アイコンをスクロールセレクトします。

X1 が表示されます

トラックが終了するとプレーヤーが停止します。

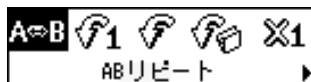
音楽のシャッフル再生

トラックをランダムな順序で再生することができます。

1 スクロールを押します。

[メインメニュー] 画面

2 [再生モード] アイコンをスクロールセレクトします。

リストが表示されます

次のいずれかの操作を行い、お好みのモードに設定します：

全てのトラックを継続的にランダム再生する：

[ランダム] アイコンをスクロールセレクトします。

が表示されます

再生を止めるまでトラックがランダムな順序で継続的に再生されます。

次ページに続く

全てのトラックを1回だけランダム再生する：

［シャッフル］アイコンをスクロールセレクトします。

が表示されます

トラックがランダムな順序で再生されます。全てのトラックが 1 回ずつ再生されると、再生が終了します。

フォルダ内の全てのトラックを1回だけランダム再生する：

［単位シャッフル］アイコンをスクロールセレクトします。

が表示されます

フォルダ内の全てのトラックがランダムな順序で再生されます。フォルダ内の全てのトラックが 1 回ずつ再生されると、再生が終了します。

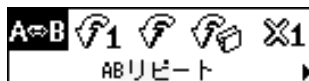
全てのトラックを再生する

ノーマルモードが選択されている場合、全てのトラックが再生リストに表示された順序で1回再生されます。

1 スクローラを押します。

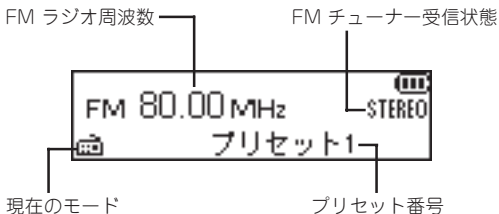
［メインメニュー］画面

2 ［再生モード］アイコンをスクロールセレクトします。

リストが表示されます

3 ［ノーマル］アイコンをスクロールセレクトします。

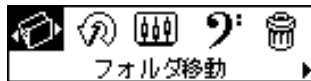
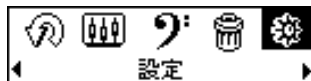
全てのトラックが順に再生されます。

FM ラジオを聴く

本機には FM ラジオチューナーが内蔵されており、お好みの FM ラジオ番組を聴くことができます。本機はその地域で受信可能な局を自動的にスキャンして、お気に入りの局をプリセットとして保存できます。FM ラジオモードでは、液晶画面に現在のラジオ局の周波数とプリセット番号が表示されます。

ユーザー設定のプリセットチャンネルが 1 つもない場合は、「**プリセットなし**」というメッセージが画面に表示されます。

地域を変更するには：

初めて FM ラジオ局をスキャンする前に、次の手順に従って地域の設定を行います。

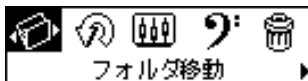
1 スクローラを押します。

2［設定］アイコン をスクロールセレクトします。

リストが表示されます

3［FM 地域］アイコンをスクロールセレクトします。

リストが表示されます

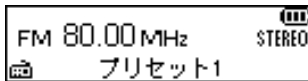
4 お住まいの地域をスクロールセレクトしてください。

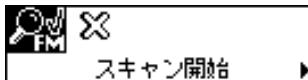
自動検索と自動保存機能を使用するには：

1 **スクロ一ラを押します。**

［メインメニュー］画面

2 **［FMラジオ］アイコンをスクロールセレクトします。**

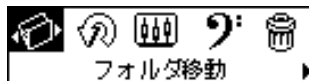
FM ラジオ局の周波数が表示されます

3 **スクロ一ラを押します。**

4 **［オートスキャン］アイコンをスクロールセレクトします。**

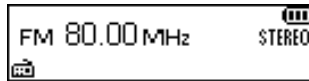
5 **［スキャン開始］アイコンをスクロールセレクトします。**

受信可能なラジオ局を検索して、プリセットとして保存します。検索が完了すると、最初に記録されたラジオ局を受信して再生します。

ラジオ局を手動で検索してプリセットするには：

1 **スクロ一ラを押します。**

［メインメニュー］画面

2 **［FM ラジオ］アイコンをスクロールセレクトします。**

FM ラジオ局の周波数が表示されます

3 **プリセットが画面に表示されている場合は、［再生/一時停止］ボタンを押して［手動スキャン］表示に切り替えます。プリセットの表示が消えます。**

4 **スクロ一ラを右 ► に回すと周波数の数字が上がり、左 ◄ に回すと数字が下がります。**

次ページに続く

5 ラジオ局を検索するには、スクローラを左右どちらかに回します。

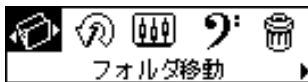
6 スクローラを押します。

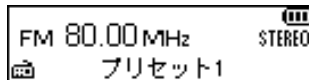
7 [プリセット保存] アイコン をスクロールセレクトします。

8 スクローラを回して、見つかったラジオ局を保存するためのプリセット番号を選択します。スクローラを押してラジオ局をプリセットに保存します。
プリセット番号は液晶画面下に表示されます。

9 他のラジオ局をプリセットに保存する場合は、手順 **3** から **8** を繰り返してください。

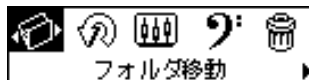
ラジオ局を選択するには：

1 スクローラを押します。
［メインメニュー］画面

2 [FM ラジオ] アイコンをスクロールセレクトします。
FM ラジオ局の周波数が表示されます

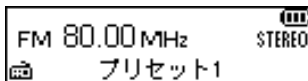
3 スクローラを左右に回して、プリセットを選択します。

POINT

プリセットが画面に表示されていない場合は、プレーヤーの［**再生/一時停止**］ボタンを押すと、プリセットを表示できます。

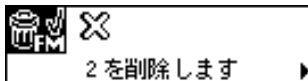
プリセットを削除するには：

1 スクローラを押します。
［メインメニュー］画面

2 [FM ラジオ] アイコンをスクロールセレクトします。
FM ラジオ局の周波数が表示されます

次ページに続く

3 スクローラを左右に回して、プリセットを選択します。

4 スクローラを押します。

5 [プリセット削除] アイコン をスクロールセレクトします。

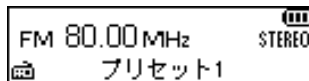
6 [<プリセット番号> を削除します)] アイコンをスクロールセレクトします。

プリセット番号が削除され､プレーヤーは次のプリセット番号のラジオ局を再生します。

FM プリセット画面と手動スキャン画面を切り替えるには:

FM プリセット画面では登録されているプリセットが表示され、スクローラを使ってプリセットされたラジオ局を選択できます。ラジオの周波数を微調整するには、手動スキャン画面に切り替えます。手動スキャン画面では、プリセットは表示されません。

1 スクローラを押します。

2 [FM ラジオ] アイコンをスクロールセレクトします。

3 スクローラを押します。

4 [スクローラモード] アイコンをスクロールセレクトして、FM プリセット画面 ([プリセット]) と手動スキャン画面 ([チューニング]) を切り替えます。

FM ラジオの受信中に［**再生/一時停止**］ボタンを押して画面を切り替えることもできます。

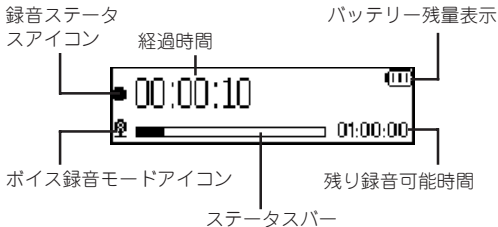
録音機能を使う

本機には、マイクロホンを使ったボイス録音機能と、受信中のFMラジオを録音する機能が搭載されています。 ボイス録音には、IMA ADPCM 形式（4bit、8kHz、モノラル）が使用され、FMラジオの録音にもIMA ADPCM形式（4bit、16kHz、ステレオ）が使用されます。
録音可能な時間は、次の要素により決まります。

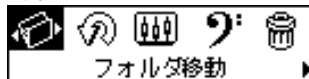
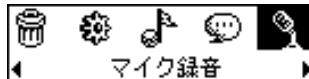
- プレーヤーのメモリー残量
- プレーヤーのバッテリー残量

本機の録音時間については、「**定格**」を参照してください。 →39

ボイス録音機能を使う

ボイス録音を行う際は、液晶画面の下側に録音可能な残り時間を示すバーが表示され、画面中央には録音の経過時間を示すカウンターが表示されます。また、マイクロホンのアイコンが液晶画面左下に表示されます。

ボイス録音を行うには：

1 **スクローラを押します。**

［メインメニュー］画面

2 **［マイク録音］アイコンをスクロールセレクトします。**

3 **［再生/一時停止］ボタンを押して、録音を開始します。**

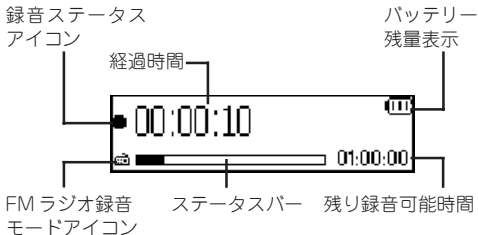
4 **もう一度［再生/一時停止］ボタンを押して、録音を停止します。**

録音された音声は自動的に名前が付けられ、ボイス録音ファイルとして保存されます。名前は次のような形式になります：VOC［ファイル番号］

ボイス録音は一時停止できません。

次ページに続く

FM ラジオを録音する

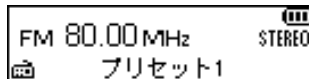
FM ラジオの録音を行う際は、液晶画面下に録音可能な残り時間を示すステータスバーが表示され、画面中央には録音の経過時間を示すカウンターが表示されます。また、FM ラジオのアイコンが液晶画面の左下に表示されます。

FM ラジオを録音するには：

1 **スクローラを押します。**

［メインメニュー］画面

2 **［FM ラジオ］アイコンをスクロールセレクトします。**

FM ラジオ局の周波数が表示されます

3 **スクローラを左右に回して、プリセットを選択します。**

4 **スクローラを押します。**

5 **［FM ラジオ録音］アイコンをスクロールセレクトし、録音を開始します。**

次ページに続く

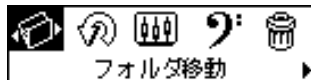
6 **［再生/一時停止］ボタンを押して、録音を停止します。**
録音された FM ラジオ番組には自動的に名前が付けられ、録音ファイルとして保存されます。
名前は次のような形式になります：FM［ファイル番号］
録音した FM ラジオ番組を再生するには、「**録音したファイルを再生する**」を参照してください。

- FM ラジオの録音を一時停止することはできません。
- プリセットが画面に表示されていない場合は、プレーヤーの［**再生/一時停止**］ボタンを押してください。

録音したファイルを再生する

ボイス録音やFM ラジオを録音したファイルの再生は、プレーヤーの［録音ファイル］モードで再生できます。［録音ファイル］モードでは、画面に経過時間、トラック番号、そして再生中のファイルの名前が画面に表示されます。

1 **スクローラを押します。**

［**メインメニュー**］画面

2 **［録音ファイル］アイコンをスクロールセレクトします。**

3 **再生するファイルをスクロールセレクトして、再生を開始します。**

録音したファイルを削除するには、「**ファイルを削除する**」を参照してください。 →34

録音したファイルをコンピュータに保存する

ボイス録音やFM ラジオを録音したファイルをコンピュータに保存し、コンピュータ上で再生することができます。

1 「ファイルを転送する」(→11) の手順1〜2を操作します。

2 [Kenwood Media Explorer] フォルダ内の [M_A3] フォルダをクリックします。

3 [Recorded tracks] フォルダをクリックし、保存する録音ファイルをコンピュータの任意のフォルダにドラッグ&ドロップします。

コンピュータで再生可能なWAV形式にコンバートされ、コンピュータに保存されます。

POINT

リムーバブルメディアとして認識されている本機([リムーバブルディスク (F:) など]) からドラッグ&ドロップしたファイルは、コンバートされずにKXM形式のままコピーされ、コンピュータ上では再生できません。

イコライザの設定

■ ジャンル別音響効果

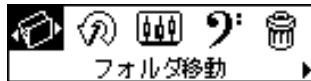
本機には､ジャンル別にイコライザを設定して音響効果を楽しめる機能があります。 本機では次のイコライザ設定が可能です。

- ロック
- ジャズ
- クラシック
- ポップス
- カスタム
- ノーマル

［**ミュージック**］モードの場合のみ、イコライザの設定が可能です。

現在再生中のトラックにイコライザ設定を適用するには、次の手順に従います：

1 **スクロ一ラを押します。**

［**メインメニュー**］画面

2 **［イコライザ］アイコンをスクロールセレクトします。**

次のいずれかの操作を行い､必要なイコライザ設定を指定します：

［ロック］､［ジャズ］､［クラシック］､［ポップス］または［ノーマル］のいずれかを選択するには：

使用するイコライザ設定をスクロールセレクトします。

［**イコライザ**］アイコンが画面に表示されます。

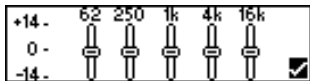
次ページに続く

イコライザの設定

カスタムイコライザ設定を定義する：

1 ［カスタム］アイコンをスクロールセレクトします。

［カスタム］画面が表示されます。

2 5つの縦方向のコントロールレバーが画面に表示されます。

それぞれのレバーには、コントロール可能な周波数の範囲が分割されています。62 Hz レバーは低域の周波数、250 Hz レバーは 中低域の周波数、1 kHz レバーは中域の周波数、4 kHz レバーは中高域の周波数、16 kHz レバーは高域の周波数をそれぞれコントロールします。

3 コントロールレバーをスクロールセレクトします。スクローラを使ってレバーのつまみを上下に動かし、選択した周波数域を増幅、または減衰します。

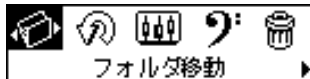
4 チェックマークをスクロールセレクトし、［カスタム］画面を終了します。

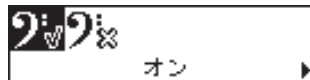
バスブーストの設定

低音を強調して再生することができます。

バスブーストを設定するには：

1 スクローラを押します。

［メインメニュー］画面

2 ［バスブースト］アイコンをスクロールセレクトします。

3 ［オン］アイコン（または［オフ］アイコン）をスクロールセレクトします。

［バスブースト］アイコンが画面に表示されます。

［ミュージック］モードの場合のみ、バスブーストの設定が可能です。

ファイルを削除する

ファイルを削除すると、音楽トラックや録音ファイルは永久に本機から削除されます。

音楽・録音ファイルを削除するには：

1 スクローラを押します。

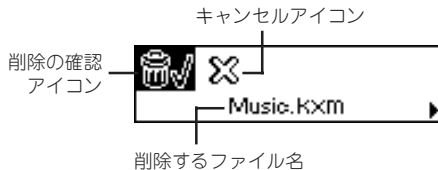
［メインメニュー］画面

2 ［ミュージック］アイコン または［録音ファイル］アイコン をスクロールセレクトします。

3 削除するトラック、ボイス録音ファイルまたは FM 録音ファイルをスクローラで表示させます。

4 スクローラを押します。

5 ［削除］アイコンをスクロールセレクトします。

6 ［削除の確認］アイコンをスクロールセレクトします。

音楽トラックまたは録音ファイルがプレーヤーから完全に削除されます。

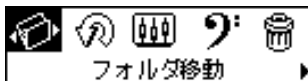
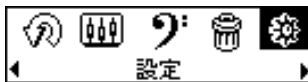
削除をキャンセルするときは、［**キャンセル**］アイコンをスクロールセレクトします。

ユーザー設定

本機には次のようなたくさんの設定オプションが用意されています。

- コントラストの設定
- 液晶画面のバックライト点灯時間の変更
- デフォルト言語の変更
- FM ラジオの受信地域の変更
- 本機が使用されなくなってから電源が自動的に切れるまでの時間
- 情報画面へのアクセス

1 スクローラを押します。

［メインメニュー］画面

2 ［設定］アイコンをスクロールセレクトします。

次のいずれかの操作を行い、必要な設定オプションを選択します：

プレーヤーの画面のコントラストレベルを設定するには：

1 ［コントラスト］アイコンをスクロールセレクトします。

2 スクローラを使って、液晶画面のコントラストを調整します。

数値を小さくするほど､液晶画面のコントラストが低くなります。

次ページに続く

画面のバックライト点灯時間を調整する：

1 [バックライト] アイコン をスクロールセレクトします。

2 バックライト点灯時間をスクロールセレクトするか、バックライトを無効にします。

数値を小さく設定するほど電池の消耗が減り、再生時間が長くなります。

デフォルト言語を変更するには：

1 [言語] アイコンをスクロールセレクトします。

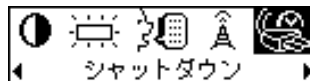
2 使用する言語をスクロールセレクトします。

FM 受信地域を変更するには：

1 [FM 地域] アイコンをスクロールセレクトします。

2 お住まいの地域をスクロールセレクトしてください。

本機が使用されなくなってから電源が自動的に切れるまでの時間を設定するには：

1 [シャットダウン] アイコンをスクロールセレクトします。

2 本機の電源が自動的に切れるまで本機が待機する時間をスクロールセレクトします。

次ページに続く

ユーザー設定

プレーヤーのファームウェアのバージョン、メモリーの総容量と空き容量、および保存されているトラック数を表示するには：

1 [情報] アイコン をスクロールセレクトします。

2 表示する情報をスクローラで選択します。

プレーヤーのロック/ロック解除

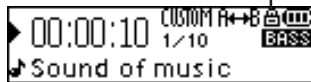
プレーヤーをロックすると、プレーヤーの全てのボタンが使用できなくなります。この機能を使うと、［再生/一時停止］ などのボタンを誤って押してしまうことがありません。

プレーヤーをロックするには：

［ホールド］スイッチを右にスライドします。

これでプレーヤーがロックされます。ロックアイコンが液晶画面の上部に表示されます。

ロックアイコン

00:00:10 CUSTOM A↔B 1/10 BASS
Sound of music

プレーヤーをロック解除するには：

［ホールド］スイッチを左にスライドします。

これでプレーヤーのロックが解除されます。

ロックした状態で電源を入れた場合［**ボタンロック**］と表示され、電源が入りません。

プレーヤーのフォーマット

通常の使用方法でプレーヤーをお使いの場合、時々プレーヤーのメモリをクリアする必要があります。Windows エクスプローラを使用してプレーヤーのメモリーをクリアすると、音楽ファイルの転送、保存、再生が効率よく行われるようになります。

> プレーヤーをフォーマットすると、音楽ファイルや録音ファイルなど全てのデータが削除されます。
> 大切なデータは Windows エクスプローラを使用してバックアップしてください。

プレーヤーのメモリーをクリアするには：

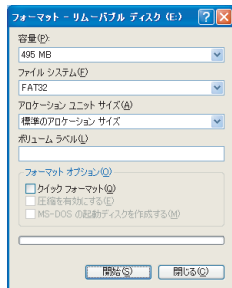
1 プレーヤーをコンピュータに接続します。

2 Windows エクスプローラで、［リムーバブルディスク (E:)］など、プレーヤーに割り当てられたドライブを選択します（E ドライブがリムーバブルディスクの場合）。

3 ドライブのアイコンを右クリックし、［フォーマット］を選択します。

4 ［開始］ボタンをクリックします。

ダイアログ ボックス

POINT

Windows XP および Windows 2000 をお使いの場合、プレーヤーをフォーマットする際のファイルシステムには **FAT32** または **FAT** を選択してください。

ソフトウェアアプリケーション

Kenwood Media Explorer について

Kenwood Media Explorer はインストール CD に含まれています（「**プレーヤーのセットアップ**」を参照してください →9）。
Kenwood Media Explorer の基本的な操作方法については、「**ファイルの転送**」を参照してください。 →11
また、Kenwood Media Explorer の［**ヘルプ（H）**］でも操作方法をご覧になることができます。

POINT

- 転送されたオーディオトラックを聴くには、［Music（ミュージック）］モードに設定している必要があります。詳細については「**音楽トラックの再生**」を参照してください。 →17

定格

サイズ（幅×高さ×奥行） 28.5 mm×71.3 mm×16.5 mm
重量 27 g（電池非装着時）
39 g（電池装着時）
内蔵フラッシュメモリー **M1GA3**：1 GB
M512A3：512 MB
M256A3：256 MB
電池の種類 単 4 形アルカリ乾電池
電池持続時間 *（単 4 形アルカリ乾電池使用時）

連続再生時間

MP3（128 kbps）	約 12 時間
WMA（64 kbps）	約 10 時間

連続 FM 放送受信時間

FM ラジオ	約 18 時間

録音 （他のファイルがないとき）

M1GA3

ボイス録音	約 64 時間
FM ラジオ録音	約 16 時間

M512A3

ボイス録音	約 32 時間
FM ラジオ録音	約 8 時間

M256A3

ボイス録音	約 16 時間
FM ラジオ録音	約 4 時間

次ページに続く

定格

*** 例えば次の要因で再生時間が短くなる場合があります。**

- 再生中にスクローラを操作してトラック内を移動したり、トラックを選択したりする
- パッシブスピーカーを使用する
- バックライトの点灯時間を 10 秒以上に設定する
- ビットレートの高い WMA ファイルを再生したり、低音域を増幅して再生する

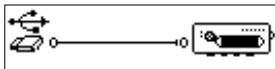
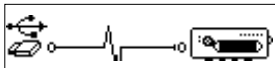
インターフェース	USB 2.0 （USB 1.1 互換）
再生フォーマット	**MP3（可変ビットレート対応）：** 32 ～ 320 kbps 8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz **WMA（DRM 対応）：** 64 ～ 192 kbps 16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
FM 受信部	ステレオ / モノラル プリセット数 32 地域選択可能
録音形式	**ボイス：** **IMA ADPCM** （8 kHz、4-bit、モノラル） **FM ラジオ：** **IMA ADPCM** （16 kHz、4-bit、ステレオ）
最大ファイル数	最大 500（転送された音楽ファイルと録音ファイルの総数）
周波数特性	20 Hz ～ 20000 Hz
ファームウェア **	アップグレード可能（ファームウエアの情報については、**www.kenwood.com/jhome.html** をご覧ください。）
ヘッドフォン出力	3.5 mm ステレオミニジャック、10.5 ＋ 10.5 mW/16Ω
液晶画面	モノクロ EL バックライト付き液晶

POINT

****最新のファームウェアは、www.kenwood.com/jhome.html にて提供の予定です。**

- これらの定格およびデザインは、改善のため、予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

画面上の図およびアイコンについて

画面に表示される図

プレーヤーはコンピュータに接続されています。プレーヤーを使用するには、コンピュータから外してください（「**使用方法**」を参照ください →44）。

プレーヤーにファイルを転送中です。

次の図のいずれかが表示されている場合、該当する対処方法をとるようお勧めします

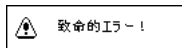
- 物理的損傷
- 何度も強い衝撃を加えた

⇨カスタマーサポートに連絡する

- 設定の保存中に電源が切れた

⇨最新のファームウェアをダウンロードする

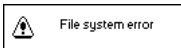
⇨ファームウェアを再ロードする

⇨カスタマーサポートに連絡する

- プレーヤーで選択した操作 （ファイルの削除など）を実行できない

⇨プレーヤーのメモリーをクリアする

⇨カスタマーサポートに連絡する

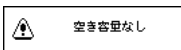
次ページに続く

File system error

- オーディオファイルが破損している
- 対応していないファイルシステムでプレーヤーがフォーマットされている

⇨録音したファイルが破損していないか確認する

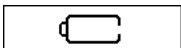
⇨プレーヤーのメモリーをクリアする

⇨フォーマットするときのファイルシステムにFAT32またはFATが選択されているかどうか確認する(「**プレーヤーのフォーマット**」を参照してください →38)

空き容量なし

- プレーヤーのメモリーに空き容量がない

⇨不要なファイルを削除する

- 電池の容量が不足している

⇨新しい乾電池に交換する

- 電池の消耗によりプレーヤーを起動できない

⇨電池を交換する

再生アイコン

▶	**再生**	◀◀	**戻る**
❚❚	**一時停止**	▶▶	**進む**
❙◀	**前のトラックに移動**	●	**録音**
▶❙	**次のトラックに移動**	■	**停止**

再生モードアイコン

A↔B **ABリピート(トラック中の任意の区間を繰り返し再生)**

曲リピート(現在再生中のトラックを繰り返し再生)

リピート(再生リストの最後の曲が終わると、最初から繰り返し再生)

単位リピート(指定したフォルダ内の曲を繰り返し再生)

シングル(現在再生している曲が終わると停止)

ランダム(プレーヤーを止めるまでずっとシャッフルしながら再生)

シャッフル(再生リストの全ての曲をシャッフルして1回だけ再生)

単位シャッフル(指定したフォルダ内の曲をシャッフルして再生)

お問い合わせのよくある質問

このセクションでは、プレーヤー使用中のよくある質問について記載しています。参照しやすいように、質問はいくつかのジャンルに分類されています。このセクションで問題が解決しない場合は、弊社の「FAQ」でも情報を提供しています。www.kenwood.com/j/download/m256_512/index.html にアクセスしてください。

一般

M1GA3/M512A3/M256A3についての公式情報はどこで入手できますか？

弊社製デジタルオーディオプレーヤーおよびアクセサリに関する最新情報とダウンロードについては、弊社ウェブサイト **www.kenwood.com/jhome.html** でご提供しております。

Windows XP で、プレーヤー付属のソフトウェアが認証を受けていないと表示されます。どのような対処が必要ですか？

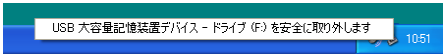
本製品の発売時において、Microsoft 社では、サードパーティ製のハードウェア関連ソフトウェアが Microsoft 社の認証を受けることを強く推奨しています。

ハードウェア製品のドライバが Microsoft 社に提出されていない場合、または同社の認定に合格していない場合は、警告メッセージが表示されます。なお、弊社のドライバまたはアップデートのインストール中にも、メッセージが表示される場合があります。

メッセージが表示された場合は、［続行］ ボタンをクリックしてください。弊社では本製品のドライバまたはアップデートの Windows XP 上でのテストを実施し、お使いのコンピュータに悪影響を及ぼさないことを確認しております。

次ページに続く

使用方法

最初の数トラックを再生した後、再生されないトラックがあります。

プレーヤーが再生できるのはKXM形式にコンバートされた MP3、WMA、および本機で録音した WAV 形式のファイルのみです。他の形式のファイルはスキップされます。

プレーヤーに転送されたファイルや音楽トラックが正常に再生されない。

ファイルの転送中に転送が中断された可能性があります。プレーヤーをコンピュータから取り外す前に、安全に取り外しができる状態にしてください。

Windows XP、Me、2000 の場合：

⇨タスクバーの［**ハードウェアの安全な取り外し**］アイコン をクリックし、［**USB 大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します**］をクリックします。安全に取り外せる状態を示すメッセージが表示されたら、プレーヤーを取り外します。

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (F:) を安全に取り外します
10:51

プレーヤーへのファイル転送に非常に時間がかかる（100 KB/ 秒未満）

プレーヤーのメモリーをクリアしてみます。詳細については、「**プレーヤーのフォーマット**」を参照してください。 →38

プレーヤーをストレージデバイスとして使用できますか？

はい、できます。

電池を頻繁に交換しなくてはなりません。電池を長持ちさせる方法はありますか？

例えば、次のような操作によって、電池の消費が早くなります。

- バックライト消灯までの時間が長く設定されている。時間を短く設定すれば、電池を長持ちさせることができます。
- コントラスト設定が高い。コントラスト設定を高くしなくても、プレーヤーの角度によって表示を見やすくすることができます。

- 再生中にスクローラを頻繁に操作してトラック内を移動したり、トラックを選択したりしている。
- プレーヤーの電源を頻繁にオン / オフしている。
- パッシブスピーカーを使用している。
- WMA ファイルを再生している。

簡単なお手入れ

本体の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、布に少し水を含ませてください。そのあと必ず乾いた布でからぶきしてください。

POINT

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は使わないでください。変質、変色のおそれがあります。
- 油をささないでください。故障の原因になります。

プレーヤーのマイコンを初期化するには：

設定の保存中に電源が切れたり、あるいは外部からの要因により、誤作動することがあります。この場合、次の手順をお試しください。

1. **本機とコンピュータの USB ポートを付属の USB ケーブルで接続します。**
2. **インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。**
3. **[スタート] ➡ [マイ コンピュータ] アイコンをクリックします。**
4. **CD-ROM/DVD-ROMドライブのアイコンをクリックし、[Updater] ➡ [Japanese] ➡ [M_A3_ ＊ _ ＊＊ _JPN.exe] をクリックします。**
5. **画面に表示される指示に従って初期化を完了します。**

POINT

初期化することにより、お客様が登録した各種の設定内容は消去されます。ただし、メモリ内のデータはそのまま残ります。メモリをクリアする場合は、「**プレイヤーのフォーマット**」を参照してください。 → 38

次ページに続く

Kenwood Media Explorerをアンインストールするには:

［スタート］➡［コントロールパネル］➡［プログラムの追加と削除］を開き、［プログラムの変更と削除］の一覧で「Kenwood Media Explorer」を選択し、［変更と削除］ボタンをクリックします。

以降、画面の表示される指示に従って、アンインストールを実行してください。

POINT

Kenwood Media Explorer を再インストールするときは、必ず一度アンインストールしてからインストールを実行してください。

転送から再生までの手順

ここでは、音楽ファイルの転送から再生までの手順を具体的に説明します。

※Windows XP での表示画面です。お使いのコンピュータの環境によって表示が異なる場合があります。

1 お手持ちのリッピング･エンコーダソフトで音楽CDからMP3（または WMA）ファイルを作成します。

- 具体的な操作については、お手持ちのリッピング・エンコーダソフトウエアの取扱説明書をご覧下さい。
- Kenwood Media Explorer にはリッピング機能（CDからの録音）はありません。

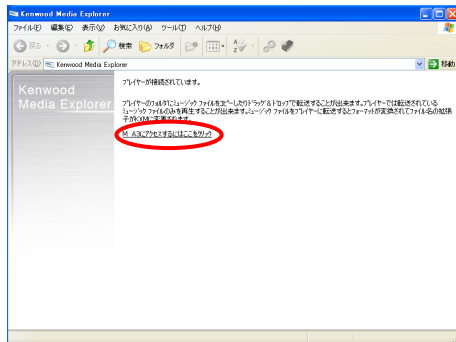
2 本機とコンピュータの USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続します。

Kenwood Media Explorer が自動的に起動します。

- 自動で起動しないときは、［スタート］➡［マイ コンピュータ］➡［**Kenwood Media Explorer**］をクリックします。

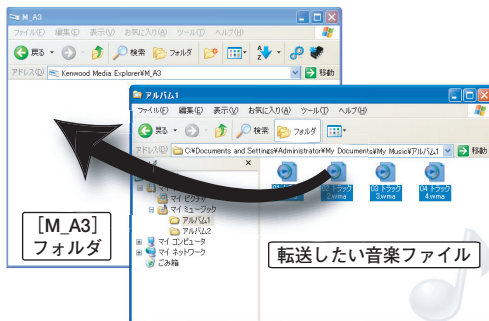
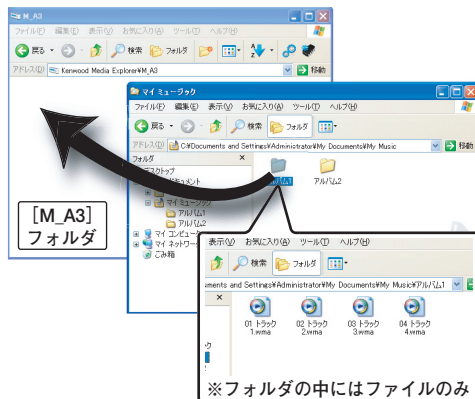
3 [M_A3にアクセスするにはここをクリック] をクリックします。

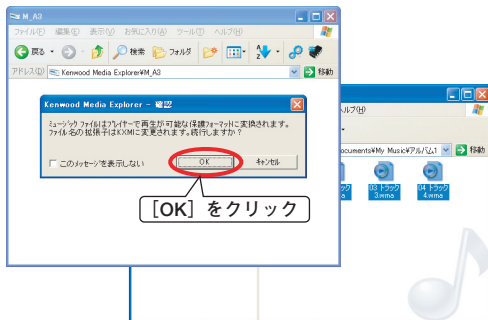
[M_A3]フォルダが開きます。

次ページに続く

4 Kenwood Media Explorerの［M_A3］画面上に、転送したい音楽ファイルまたはフォルダをドラッグ＆ドロップします。

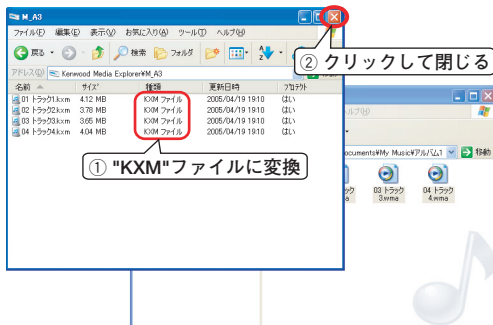
【ファイルを転送する】

【フォルダごと転送する】

次ページに続く

5 KXM形式への変換についてのダイアログボックスが表示されたら、[OK] をクリックします。

WMAやMP3形式のファイルが、KXM形式に変換されて、プレーヤー本体に転送されます。

① 音楽ファイルが転送されたら、"KXM"形式に変換されていることを確認し、

② [Kenwood Media Explorer] を閉じます。

次ページに続く

転送から再生までの手順

6 ①タスクバーの［ハードウエアの安全な取り外し］アイコンをクリックし、
②［USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します］をクリックします。

安全に取り外せる状態を示すメッセージが表示されたら、本機をPCから取り外します。

①

15:24

ここをクリック

②

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (F:) を安全に取り外します

15:25

ここをクリック

7 プレーヤーに "KENWOOD" が表示されるまで、プレーヤーの［再生/一時停止］ボタンを押し続け、電源をオンにします。オンになると曲が再生されます。

弊社ホームページの「FAQ」にて、情報を提供しています。
http://www.kenwood.com/j/download/m256_512/index.html にアクセスしてください。